



クラブ 会報

CLUB BULLETIN
(WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 三井 健
幹事 山口 篤之助
会報委員 山新 穂光一郎
新 藤田 幸雄
鷲 安藤 定助
嶺 岸 光吉

No., 972

1978.8.29 (火) (晴)

No.9

ウィンター紹介

菅原鉄三郎君 雑貨小売一温海R.C
菅原年雄君 建設 八幡慶二君 建築 } 鶴岡西R.C
大川俊一君 海上保険 斎藤福太郎君 農業 }

会長・幹事報告

三井 健君

1. 鶴商学園のこの度の甲子園派遣に対する支援について後援会会長平田貢氏より丁重なる御礼状が参りました。
2. 9月19日ガバナー公式訪問の際、委員長が出席出来ない場合は必ず代人を出席させて下さい。

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

酒田東R.C、台中港区R.C、本荘R.C

◆ 早坂源四郎君 病氣回復のご挨拶

長い間欠席して申し訳ありません。皆様の温いご友情を賜わり深く感謝申し上げます。

療養中に読んだロータリーの本に珍しい事件がありましたので、この機会に一寸申し上げて見たいと思います。

それは米国カリフォルニアの530地区の DUARTE と云う R.C が東京です。大会に於ける R.I 理事会で16日正午、正式に R.I から除名を決定されたこと除名の理由は、そのクラブに婦人3名が入会して居り R.I の再三の忠告にも拘わらずそれを改めないために懲戒処分となったものです。

要は婦人問題は一般社会でも、そうであるように、ロータリーに於いても重大な問題を起こすことがあり、又定款、細則即ちルールを無視し、且つそれを改めないと云うところに問題のあることが痛感されます。今後何かのご参考までに!!

◆ スピーチ

「荘内藩の物語」

阿部久書店 阿部 整一氏

歴史は川の流れるように古き史実は流れうせ、又新しい史実が流れ現れるもので、荘内藩の物語にもそのような事実が沢山出ている。何れ「荘内藩秘話」とでも題してまとめたいと思っていると前置きされ、次のような数々の物語の史実の変遷について大変興味深いお話をされた。

酒井忠次公は前世は英雄に讃えられているが、後世は時代の変革と共に余り目立たない存在であった。

清川八郎は清川の生れと伝えられているが、実は山王町（旧荒町）の生れのようなのだ。

又宝林寺の首塚、親の許しのない恋愛は切腹につながった往時の恋愛、大名の乱暴振り、常念寺の馬頭観音、山王神社の詞、武士と町人の喧嘩話、荘内藩の大騒動、天保義民伝等の真相、等々。

委員会報告

① ローターアクト委員会

市川輝雄君

本日委員長欠席のため、わたしから委員会報告とのことですが、その前にブレントン君の次のホストファミリーを西海正一君とわたし（市川輝雄）が引受

けることになりましたので報告いたします。

扨て 去る26日～27日米沢市天元台で開催されました第253地区第5回ローターアクトクラブ年次大会に地区委員として出席して参りましたので概況報告いたします。

当地区内に現在12R.A.Cがございます。先に当地区R.A.Cが九州を交歓訪問した交友もあって第270地区R.A.C代表、福岡R.A.C会員や、次期同地区代表の参加もあり、黒沢ガバナー並びに穴沢バスターガバナーのご出席もあり、野外を会場に大変盛会でした。

米沢の砲術隊の実演のアトラクションや、米沢各R.C会員多数出席の夜のレセプションも大盛会で、翌日の浜田ガバナーノミニエの記念講演は、戦後第1号の飛行免許を受けられた方で大変興味のある内容の講演であった。

② 国際奏仕委員会

迎 田 稔 君

去る26日～27日蔵王温泉に於て第253地区交換学生オリエンテーションが開催され、来日中の交換学生及び派遣帰国交換学生が会合し有意義な集会在催され、当R.Cからもブレントン君、木村君、清野さんが参加いたしました。当地区の交換学生の現況は次の通りです。

1月にオーストラリアより 6名 8月にアメリカより 6名

7月にフィリピンより 2名

メッセージ from C.B.C

マッチドクラブの所在地の紹介

○ ROSE-DALE (ローズ・デール) U.S.A

ミシシッピ州西部、ミシシッピ河に面し、イリノイ中央鉄道が通っている。グリーンビルの北30哩で漁業場、製材所があり、綿花油製造が主産業である。人口は1960年度で2,339人。

○ RIO-PIEDRAS (リオ・ピドラス) PUERTO RICO

プエルトリコ北東部で、サンファン(プエルトリコ首都)の南東7哩に位置し、現在サン・ファン市に合併されている。貿易、教育、産業の中心地で又、プエルトリコ大学の所在地としても有名である。合併前(1950年)の人口は13万人でプエルトリコで第2の都市であった。

○ STAWELL (ストーウェル) AUSTRALIA

オーストラリアのビクトリア州の町で、メルボルンの北西176哩に位置し、金鉱、採石場があり1940年の人口は約8,000人である。

—アメリカーナ調べ—

◆「ボーイスカウト運動の歴史」

ボーイスカウト運動をはじめたのはイギリスのベーデン・パウエル卿（B—Pと略す）です。B—P卿は騎兵将校でしたが、退役後、インド、アフリカ在任中の経験をもとに新しい青少年教育の実験をはじめました。1907年（明治40年）21人の少年とキャンプ生活をし、翌年「少年のための斥候術（Scouting for Boys）」という本を出版しました。これがベストセラーになり、イギリス各地にボーイスカウトが出来ました。野外活動と少年の自発的小グループ活動を大切に、奉仕精神を基盤としたこの新しい教育法は、すぐにヨーロッパ各国やアメリカに取り入れられました。

1909年の霧の深い日、ロンドンの町で道に迷ったアメリカの実業家ウイリアム・ボイス氏は一人のボーイスカウトの親切に感激、すぐにボーイスカウト本部から資料を取り寄せてアメリカにこの運動を拡める発端をつくりました。いまアメリカは世界一のボーイスカウト国になっています。日本には明治44年（1911年）に紹介され、その後、後藤新平氏を総長として大正11年（1922年）に少年団日本連盟が設立され、同13年には世界事務局に登録されました。世界ジャンボリーにも第1回から代表を派遣しました。太平洋戦争中の数年間は一時この運動は中断されましたが、戦後間もなく昭和22年に再建され、昭和35年、再び世界事務局に登録され、第7回世界ジャンボリーに代表を派遣しました。国内の日本ジャンボリーも昭和31年（軽井沢）から行われるようになり、昭和46年8月には第13回世界ジャンボリーが日本で開催され、富士山麓朝霧高原に87ヶ国、23,000余人の青少年がつどいました。同じ年、第23回ボーイスカウト世界会議も東京で行われ、天皆陛下もご臨席されました。翌昭和47年11月、ボーイスカウト日本連盟は創立50周年を祝い、53年には、日本ジャボリーも7回を数え、ますます質、量ともに充実しつつあります。

「ボーイスカウトの種類と年齢区分」

指 導 者	21才以上。
ローバースカウト	18才以上。
シニアスカウト	15才以上又は中学校3年8月以降。
ボーイスカウト	小学校5年9月以降。
カブスカウト	小学校2年2学期終了後。

出席報告

本日の出席	会 員 数	68名	欠	阿部(襄)君、早坂(徳)君、玉城君、川村君、三浦君、斎藤(栄)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、笹原君、新穂君、内山君、上野君、金沢君、佐藤(元)君、野村君
	出 席 数	50名	席	
	出 席 率	73.53%	者	
前回の出席	前回出席率	76.12%	メア	五十嵐(三)君、笹原君一仙台R.C 風間君、三井(徹)君、佐藤(忠)君、佐藤(友)君、鷺田君、丹下君、富樫君、吉野君 一鶴岡西R.C
	修正出席数	61名	ッ	
	確定出席率	91.04%	クブ	